

令和7年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党
事 業 名	北海道室蘭市 地方再生コンパクトシティ
事 業 区 分	①研究研修 ②調査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

既存施設の再生、図書館と科学館との複合施設、地方都市での再生整備計画による、上田市の交響施設の在り方について調査をするため。

2 実施概要

実施日時	視察先	早稲田大学 国際会議場
令和7年10月17日(金)9:30~11:00	担 当	都市建設部都市政策課

報 告 内 容	<p>1 市の概要 北海道中南部に所在し、胆振総合振興局所在地、計量特定市。 明治後期から日本製鋼所室蘭製作所、日本製鉄北日本製鉄所室蘭地区が設立され「鉄のまち」として発展し東北・北海道を代表する重化学工業・港湾都市。人口73,202人、財政力指数0.62</p> <p>2 市の特徴 降雪量が多く、豪雪地帯に指定されている。年平均気温は8.9℃。 産業別従業者数 第三次産業の割合が72.4%第二次産業の27.5%第一次産業は0.14%。第二次産業のうち、基幹産業である製造業は16.3%。北海道内の製造品出荷額等の市町村別順位は苫小牧市に次ぐ第2位。「ものづくりの技術と港を生かしたまちづくり」のまちと共に、雄大な自然景観や美しい工場夜景を持つ観光都市。</p> <p>3 視察事項 視察テーマ『地方再生コンパクトシティ』 当市は平成30年に地方再生コンパクトシティモデル都市(全国で32都市、長野県は小諸市)に選定から、立地適正化計画(平成31年度)策定、都市計画マスタープラン(令和2年度)策定、地域公共交通網形成計画(平成31年度)策定を行った。 計画に基づき駅周辺都市整備計画事業は、室蘭駅126ha(公共施設集中地区)と東室蘭駅340ha(大規模商業施設が多い)の周辺都市機能誘導区域を指定した。</p> <p>都市計画に関する課題 ・図書館、青少年科学館、総合体育館の老朽化 ・商店街の衰退 ・旧室蘭駅(国の登録指定文化財)の有効活用について、社会資本整備総合交付金で事業を推進。</p> <p>事業 事業期間 平成30年~令和3年 4か年。交付率50% 交付対象事業費53億5千万円。 交付対象外事業を含め85億円弱のプロジェクトとなった。国費26億75百万円。</p>
------------------	--

報
告
内
容

事業内容

えみらん建設費 31 億、アリーナ建設費 43 億円

○えみらん・図書館と環境科学館との合築複合施設

市立図書館昭和 33 開館 1603 ㎡、青少年科学館昭和 38 年開館 3426 ㎡を合築することで延べ床面積合計 4712 ㎡にして 137 ㎡削減。

○スポーツ施設

昭和 40 年代人口 16 万の時代に整備してきた公共施設が多く、現在約半分の人口まで減少していることで、公共施設を全て維持できない。市内に点在していたスポーツ施設を各所に集約。総合体育館建設。

○中心市街地 商店街 エリア内回遊性の向上

旧室蘭駅と隣接する公園の一体整備、イベントなどの推進と空き店舗活用支援

事業効果

えみらん、総合体育館の利用者数の増加、エリア内空き店舗活用が増加、空地には賃貸アパートが建設された。

事業効果を継続するために

自発的ににぎわいづくりに関わる人材、市民有志の活動がある。

今後の課題

公共施設利用者をまちなかへ回遊させる官民連携から、民間主導、民間発想から実現するための行政サポート。

感
想
・
ま
と
め
・
市
政
に
活
か
せ
る
こ
と

4 感想・まとめ・市政に活かせること

室蘭市の総合的なまちづくり計画の 1 つと共に公共施設の更新が課題となっていたこと。高度成長期から人口が半減する中で、国のモデル事業となったこと受け、公共施設の複合化、再編を行う上で、住民理解にも時間をかけており事業実施に向けた取り組みと成果を評価すると共に、市内に科学館があることは、鉄のまち、ものづくりのまちを象徴している。

市政に活かせること

上田市における事業においても、図書館、博物館、総合体育館それぞれの更新が近々にせまっている。公共施設の再編、複合化は今後の財政、まちづくり、市民参加に大きな影響を及ぼすことから、長期にわたる計画についても着実に進捗できよう財源と共に議会はチェックしなければならない。

